

手順：

Fiery ツールを使用してジョブ送信を自動化する



Fiery JobFlow Base			Jobs	Workflows	Upgrade now	Admin
Workflows			Search Workflows			+ [icon] [icon]
WORKFLOW NAME	MODULES	DATE CREATED				
<input type="checkbox"/> Business cards	Convert > Fiery	02/08/2018 12:11:54				
<input type="checkbox"/> Conversion	Convert > Fiery	02/08/2018 12:09:24				
<input type="checkbox"/> Impose	Convert > Impose > Fiery	02/08/2018 12:09:24				
<input type="checkbox"/> Image Enhance	Convert > Image Enhance > Fiery	02/08/2018 12:09:24				
<input type="checkbox"/> Fiery Preflight	Convert > Fiery Preflight > Fiery	02/08/2018 12:09:23				

手順：Fiery ツールを使用してジョブ送信を自動化する

機能概要

Fiery® Command WorkStation® のシステム管理者は、サーバージョブのプリセットを作成し共有して、よく使用されるアプリケーションに関してジョブのプロパティの選択を自動化することで、時間を節約し生産性を最大限に高めることができます。

システム管理者は、Command WorkStation のデバイスセンターからサーバープリセットの保存、編集、公開、および削除を行うことができます。これにより、他のユーザーは、仮想プリンター、Hot Folders、ジョブのプロパティ、印刷ドライバー、Fiery JobFlow などのワークフローを通じて一元的に保存されているプリセットにアクセスすることができます。

Fiery Virtual Printers によって、プロダクション印刷の管理者は特定の設定を作成し、それをデスクトップ上の特定の名前のプリンターとしてユーザーに提示することができます。たとえば、定期的にトレーニング マニュアルを印刷するユーザーは、「トレーニング マニュアル」という名前のプリンターに印刷するだけで、ジョブ設定のエラーを大幅に削減することができます。

Fiery Hot Folders では、ドキュメントを Fiery サーバーに送信するための自動化された簡単な方法をユーザーに提供します。ユーザーはドキュメントを Hot Folders にコピーまたはドロップするだけです。このワークフローでは、ジョブは PPD の上書き、面付け属性、ファイル形式の変換などのジョブ チケットの指示とともに Fiery サーバーに送信されます。

Fiery JobFlow™ は、プリプレスワークフローでのジョブ準備工程を自動化して、印刷準備の完了したファイルを生成します。この使いやすい印刷ワークフロー自動化ソフトウェアで、生産性向上とコスト削減を図ることができます。

ゴール

- 名刺の面付けレイアウトを作成する
- 新しいサーバープリセットを作成する
- 新しい仮想プリンターを作成してプリセットを適用する
- 新しい Hot Folder を作成してプリセットを適用する
- Command WorkStation で自動ワークフローを適用する
- Fiery JobFlow で自動ワークフローを適用する

その他のリソース

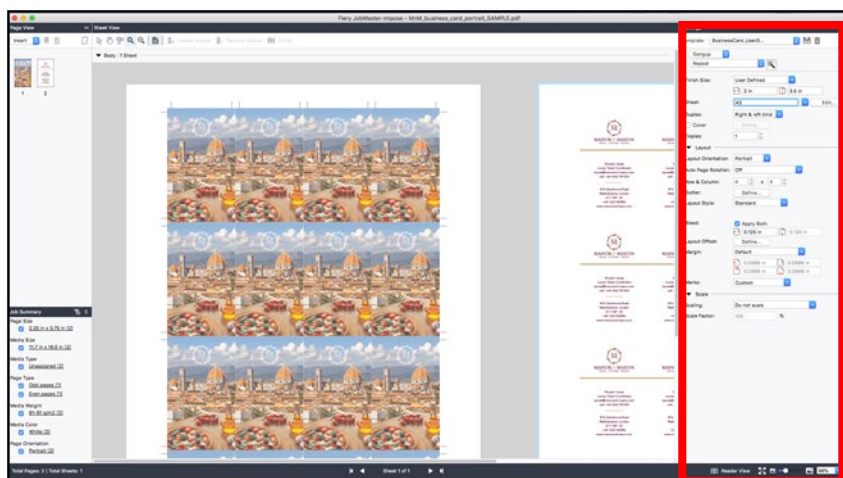
その他のソフトウェアダウンロードやトレーニング リソースについては、[Fiery オンラインリソース](#)を参照してください。

はじめに

- Fiery Command WorkStation® 6（またはそれ以降）を起動し、Fiery FS350/FS350 Pro を実行している少なくとも 1 つの Fiery サーバーに接続してください。
- Command WorkStation を実行しているコンピューターで Fiery Impose のライセンスをアクティベートします。
- Fiery Impose の 30 日間無料試用版を申し込むには、<http://fiery.efi.com/impose/freetrial30> にアクセスしてください。

手順：Fiery ツールを使用してジョブ送信を自動化する

- Command WorkStation を実行しているコンピューターに Fiery Hot Folders をインストールします。
- Fiery Software Manager を使用して、無料の Fiery JobFlow Base アプリケーションをインストールします。
- Fiery JobFlow の 30 日間無料試用版を申し込むには、<http://www.efi.com/fieryjobflow-30day-trial/> にアクセスしてください。
- サンプルファイル **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** を Fiery サーバーの待機キューに送ります。
それには、ファイルを Command WorkStation の待機リストにドラッグするか、Command WorkStation のインポートメニューオプションを使用します。
- 印刷を開始する前にプリンターと Fiery サーバーのキャリブレーションを行ってください。



名刺の面付けレイアウトを作成する

1. Command WorkStation の待機リストで **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。次に、右クリックして「**Impose**」を選択します。
2. 「Impose」ウィンドウの「設定」ペインで、製品インテントに「**ギャングアップ**」を選択します。
3. ギャングアップの下で**反復 > 左/右**を選択します。
4. 「仕上がりサイズ」オプションで、「**ユーザー定義**」を選択します。「仕上がりサイズ変更はブリード値をリセットします」というメッセージが表示されます。**OK** をクリックしてウィンドウを閉じ、レイアウトを続行します。

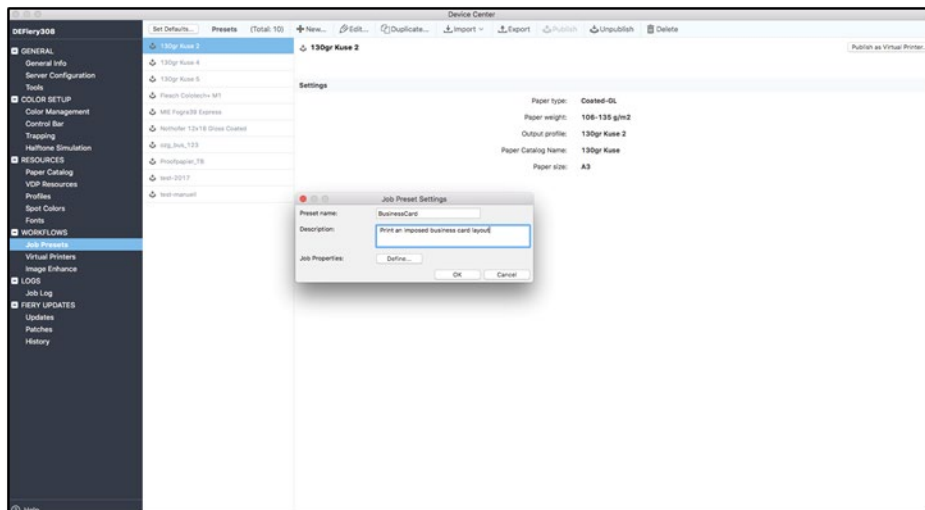
Fiery Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」での面付けは、PDF ファイルのトリムボックスの仕上げのオプションを使用します。この機能強化により、*Fiery Impose* のテンプレートを「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定で使用して、これらのテンプレートを *Fiery Hot Folders*、仮想プリンター、ジョブのプロパティ、およびサーバー プリセットなど、任意のジョブ送信の方法またはワークフローで利用できます。

5. 「シート」で、「**11x17**」または「**A3**」を選択します。
6. 「両面」で「**オン**」を選択します。
7. 「レイアウト」領域で、次のオプションを選択します。
 - a. レイアウト方向: **縦**
 - b. 行と列: **4 x 4**
8. 「とじしろ」で「**定義**」をクリックします。

9. **0.25 インチ**と入力し、**すべてに適用**をクリックし、さらに **OK** をクリックします。
「シート表示」ペインで、各カードの間に **0.25 インチ**の空白がとじしろとして表示されます。
10. Command WorkStation の環境設定で「ユーザー定義」オプションがデフォルトに設定されている場合、ジョブを **Impose** で開いたときに、ブリード値は自動的に設定されています。

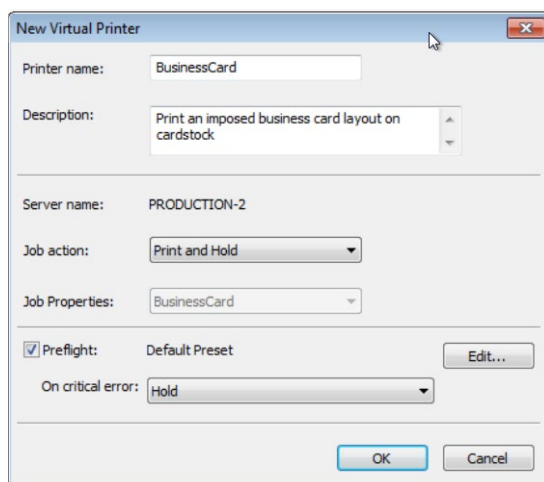
Impose では、「ユーザー定義」を有効にすると、トリム サイズの値から仕上がりサイズの値が設定され、ドキュメントからブリード値が自動的に設定されます。

11. 「ページマーク」領域で「定義」をクリックします。
12. 「トリム」タブで「トリミングマーク印刷」チェック ボックスを選択します。
13. 「マークをおもて面のみ印刷」チェック ボックスをオンにします。「OK」をクリックして閉じます。
14. 設定をテンプレートとして保存するには、**ディスク アイコン**をクリックします。この例では、「**BusinessCard_UserDefined**」として保存します。「OK」をクリックします。
15. ファイル メニューから「終了」を選択するか、角にある赤い **X** をクリックして、**Impose** を閉じます。
16. 「保存」ウィンドウが開いた場合、面付けジョブを保存しないのであれば「いいえ」を選択します。
17. 次のセクションでは、このテンプレートをサーバープリセットに適用し、これを使用して今後の同様のジョブを自動化できるようにします。



新しいサーバープリセットを作成する

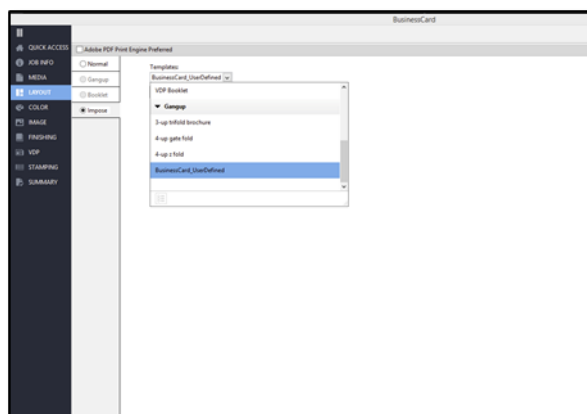
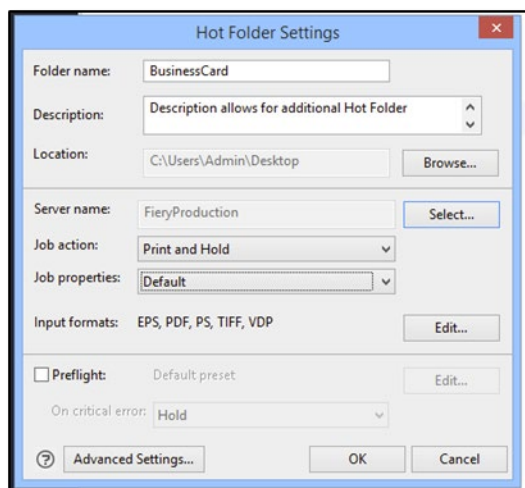
1. Command WorkStation で、サーバー > デバイスセンター > ワークフロー > ジョブプリセットを選択します。
2. 新しいプリセットを作成するには、「新規」をクリックします。
3. プリセット名と説明を入力します。
4. この例では「**BusinessCard**」と入力します。
5. 「説明」フィールドに、追加の特性を記載できます。この例では、「**面付けした名刺レイアウトの印刷**」と入力します。
6. 「ジョブのプロパティ」で、「定義」をクリックします。
7. 「レイアウト」アイコンをクリックします。
8. 「Impose」をクリックします。
9. 先に作成した **BusinessCard_UserDefined** テンプレートを選択します。完了したら、「OK」をクリックします。
10. 「OK」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を適用します。
11. 次のセクションでは、このプリセットを仮想プリンターに適用します。



仮想プリンターを作成してプリセットを適用する

1. 「プリセット」ウィンドウから、**BusinessCard** プリセットを選択します。次に、「仮想プリンターとして公開」をクリックします。
2. 「新規仮想プリンター」ウィンドウが開き、追加の設定を適用できます。
3. プリンター名を入力します。この例では「**BusinessCard**」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、仮想プリンターの追加の特性を記載できます。
5. 「ジョブアクション」で「**印刷後待機**」を選択します。
6. **Preflight** チェックボックスをオンにします。この例では、デフォルトの **Preflight** 設定を使用します。
7. すべての設定が終了したら、「**OK**」をクリックします。
8. 保存後、仮想プリンターが正常に作成されたことを示すメッセージが表示されます。
9. 「デバイスセンター」の「ワークフロー」で「**仮想プリンター**」を選択して、新しく作成した仮想プリンターを確認します。
10. さらに仮想プリンターを作成するため、「**新規**」をクリックします。
11. 「**新規仮想プリンター**」ウィンドウで、仮想プリンターの名前 (機能を示すような名前) を入力します。
12. 「**説明**」には、追加の特性を記載できます。
13. 「**ジョブアクション**」を選択します。

14. 「ジョブのプロパティ」で、「**定義**」をクリックします。または、ドロップダウンリストからジョブプリセットを選択することもできます。次に、適用する印刷オプションを割り当てます。
15. 「**すべてロック**」をクリックします。これによって、事前に定義されたジョブのプロパティをユーザーが上書きしないように防ぐことができます。
16. 「**OK**」をクリックして、「ジョブのプロパティ」を適用します。
17. 完了したら「**OK**」をクリックして、新しい仮想プリンターを保存し、公開します。
18. これでユーザーは仮想プリンターのドライバーをインストールして、ジョブを送信することができます。
19. 仮想プリンタードライバーのインストールと使用については、**Fiery** の取扱説明書を参照してください。



新しい Hot Folder を作成してプリセットを適用する

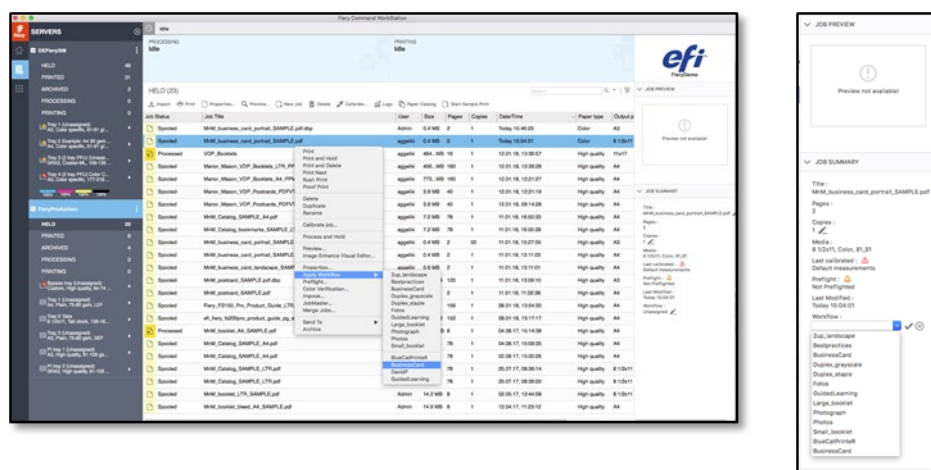
1. Fiery Hot Folders アプリケーションを起動します。
2. ツールバーの「新規」アイコンをクリックして、新しい Hot Folder を作成します。
3. 新しいフォルダーの名前を入力します。この例では「**BusinessCard**」と入力します。
4. 「説明」フィールドに、Hot Folder の追加の特性を記載できます。
5. 「場所」フィールドには、新しい Hot Folder が作成されるデフォルトの場所が表示されます。場所を変更するには、「参照」をクリックします。この演習では、デフォルトの場所 (デスクトップ) を使用します。
6. 「選択」をクリックして Fiery サーバーを選択します。
7. 「サーバーに接続」ウィンドウが開いたら、**検索アイコン** (虫メガネのアイコン) を使用して、ネットワーク上の Fiery サーバーを検索します。Hot Folders で送信したジョブの受信に使用する Fiery サーバーを選択します。次に、「接続」をクリックします。

使用する **Fiery** サーバーが別の **TCP/IP** サブネット上にある場合は、**検索メニュー**を選択し、サブネットまたは **IP 範囲**を選択して、ローカルの **TCP/IP** サブネットの範囲外まで検索を拡大します。

8. ジョブアクションを割り当てます。この演習では「**処理後待機**」を選択します。
9. 「ジョブのプロパティ」で、サーバープリセットを選択します。この例では、**BusinessCards** を選択します。
10. 「**Preflight**」チェック ボックスをオンにします。
11. 「重大エラー発生の場合」オプションで「**待機**」を選択します。

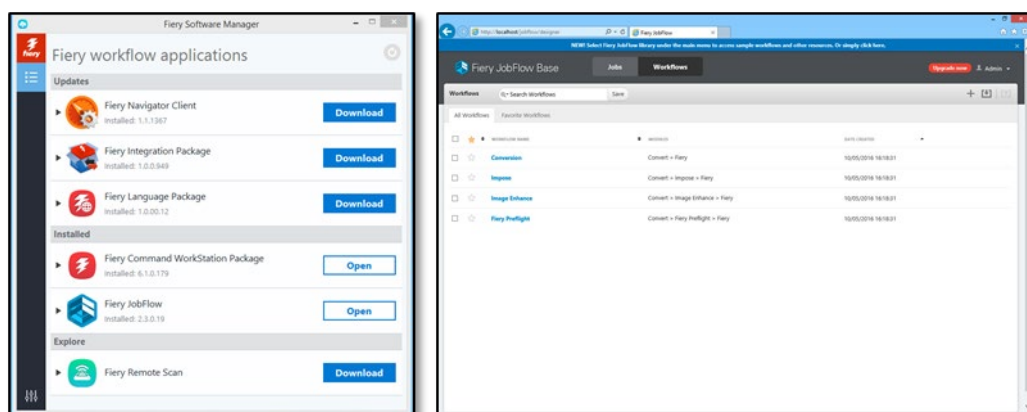
手順：Fiery ツールを使用してジョブ送信を自動化する

12. 「OK」をクリックして、すべての設定を Hot Folder に適用し、Fiery Hot Folder コンソールを閉じます。
13. Fiery Hot Folders を実行しているコンピューター上で、**MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを探して選択します。
14. 右クリックして「ホットフォルダにダウンロード」を選択します。次に、作成した Hot Folder を選択します。または、**MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを **BusinessCard** ホットフォルダーにドラッグします。



Command WorkStation で自動ワークフローを適用する

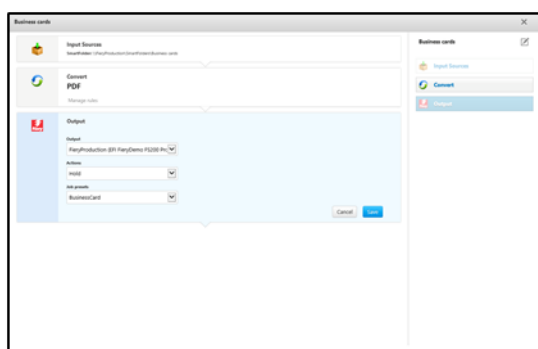
1. オプション 1: Command WorkStation の待機リストで **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。次に、右クリックして「ワークフローを適用」>「**BusinessCard**」を選択します。
2. オプション 2: Command WorkStation の待機リストで **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを選択します。プレビュー領域で、**ワークフロー**をクリックしてワークフローをジョブに割り当てます。
3. オプション 3: ツールバーの「インポート」アイコンをクリックします。または、「ファイル」>「インポート」を選択します。
 - a. **MnM_business_card_portrait_SAMPLE.pdf** ファイルを探します。
 - b. 設定で、**サーバープリセット**を使用または**仮想プリンターを使用**をクリックします。
 - c. サーバープリセットまたは仮想プリンターを選択します。
 - d. 適用するジョブアクションを選択します。



Fiery JobFlow で自動ワークフローを適用する

Fiery JobFlow アプリケーションはサーバーベースのアプリケーションで、Fiery Software Manager を使用して Windows オペレーティングシステムにインストールできます。インストール後は、任意のブラウザでこのアプリケーションにアクセスできます。この演習では、無料の Fiery JobFlow Base アプリケーションを使用します。

1. アプリケーションのアイコンを**ダブルクリック**して、Fiery JobFlow を起動します。
2. 登録しているユーザー名とパスワードでログインします。
3. Fiery JobFlow アプリケーションで、**ワークフロービュー**に移動します。
4. 右上隅の**プラス記号** をクリックして、新規ワークフローを追加します。
5. **ワークフローを新規作成**ウィンドウで、ワークフロー名として **Business cards** を入力し、追加したい任意の説明も入力します。**作成**の確認をします。
6. **出力領域**を強調表示し、**編集** を選択します。
7. 出力デバイスとこのワークフローのアクションを定義し、作成したプリセット **BusinessCard** を割り当てます。これで、Fiery Impose テンプレートとその他のあらゆるプロパティ（このプリセットに定義されている用紙や仕上げの設定など）が適用されるようになります。
8. 保存の確認をします。
9. 作成されたワークフローがリストの先頭に表示され、使用する準備ができました。ファイルをワークフローに**ドラッグアンドドロップ**します。
10. Fiery JobFlow Base ウィンドウ上部の**ジョブビュー**に、ファイルの進行状況が表示されます。
11. Fiery JobFlow では、ワークフローを必要な数だけ追加できるので、無駄がなく、印刷プロセスの自動化に役立ちます。



EFI fuels success.

We develop breakthrough technologies for the manufacturing of signage, packaging, textiles, ceramic tiles, and personalized documents, with a wide range of printers, inks, digital front ends, and a comprehensive business and production workflow suite that transforms and streamlines the entire production process, increasing your competitiveness and boosting productivity. Visit www.efi.com or call 650-357-3500 for more information.



Nothing herein should be construed as a warranty in addition to the express warranty statement provided with EFI products and services.

The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, Digital StoreFront, DirectSmile, DocBuilder, DocBuilder Pro, DockNet, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, FabriVU, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Navigator, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inktenzity, Inkware, LapNet, Logic, Metrix, MicroPress, MiniNet, Monarch, OneFlow, Pace, Pecas, Pecas Vision, PhotoXposure, PressVu, Printcafe, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, PrintStream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEK, the VUTEK logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.

All other terms and product names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners, and are hereby acknowledged.